

375

REEL No. A-0010

0401

アジア歴史資料センター

377

在鐵嶺日本領事館

ラシムルト共ニ極力其ノ出所ヲ調査セシメツツアルカ本日正午迄右貼  
 出者判明セス支那側警察ニ於テハ王區官自ラ中學校師範學校ノ謄寫版  
 ヲ検査シツツアリ  
 宣傳文ハ約三百部ニシテ主トシテ學校其他官公衙ノ壁ニ貼付シアリタ  
 リ支那警察所ニ於テ押收セル宣傳文ハ全部燒棄シタル趣ナリ右報告ス  
 本信寫送付先 公使、奉天、長春、吉林、鄭家屯、安東、牛莊、  
 遼陽、撫順、海龍、通化、向島

S 1.1.1.0 - 2

2610

376

在鐵嶺日本領事館

日本出兵反對宣傳文貼付ニ關スル件  
 昨十日午後十時頃當地南關（南關ニハ中學校師範學校高等女學校女子  
 師範學校其他小學校職業學校等アリ）ヲ中心トシ城内外ニ別紙譯文ノ  
 如キ我山東派兵ニ對スル反對宣傳文ヲ路傍見易キ位置ニ貼付セルモノ  
 アリ右ハ當地支那學生ノ作成シタルモノナラスヤト思料セラレ本日拂  
 曉支那警察所ニ於テ之ヲ發見シ所轄第九區々官ヲシテ全部之ヲ剥キ取

S 1.1.1.0 - 2

2609

亞細亞局

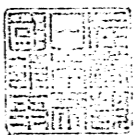
公信第一二四號

昭和三年五月十二日

在鐵嶺

領事 近

藤 信



昭和三年五月拾八日 接受

附屬書添附

テ彼レノ本心ハ必スヤ永遠ニ我等祖先來ノ墳墓郷土ノ小川ヲ占領シ支那人ヲ日本人ノ奴隸トナサムト欲セリ我等ハ豈ニ彼等ヨリ膏血ヲ吸收セラルルカ儘ニテ其ノ原料ヲ供給スル止メンヤ、同胞諸君彼等カ東三省ヲ強制占領セシ手段ヲ看ル時ハ彼レカ最毒的政策ハ即チ一目瞭然タルヘシ

東三省ノ金融ハ彼ノ爲擾亂セラレ鐵道鑛山等彼ノ爲ニ墮斷セラレ空虚トナリ地上地下共確實ニ彼等ニ占領セラレ我等人民或ハ各種團體ハ全然一步モ動轉スル能ハサル實ニ可憐ノモノナリ即チ最近ニ於ケル臨江領事館設置ノ如キ吉海打通鐵道事件ノ如キ一層之ヲ證明スルコトヲ得ヘシ日本政府ハ東三省内ニ於テハ忌憚ナク強暴ヲ盡シ我等ハ之等ノ交渉未解決ナラント思フ折柄又々彼等ニ一大侵略好機會ヲ與ヘタリ、

## 譯文

## 日本ノ第二次山東出兵ニ反對セル宣言書

親愛ナル同胞ヨ、日本田中内閣軍閥政府カ又々横暴ニモ我カ山東ニ向ツテ大出兵ヲナセルコトヲ知ラスヤ。出兵ノ表面口實トシテハ日本在留民ノ生命財産ヲ保護スト雖モ出兵ノ費用ハ金票貳百五十拾萬圓元ニ上リ兵數ハ山東ニ居住スル日本人ノ數十倍ナリ、同胞諸君思考セヨ、凶狼狡猾ナル日本帝國主義ノ政府カ眞ニ果シテ彼ノ小數ノ居住民ヲ保護スルノミ甘シテ此ノ如キ多大ノ犠牲ヲ拂フモノナリヤ、彼ハ決シテ斯ノ如キ白痴者ニ非ス彼レカ目的野心ハ畢竟何處ニアルヤハ既往ノ事實ニ依リテ證明セラル同胞諸君我等ハ日本政府ノ從來支那ニ對セル慣用馬賊的侵略政策ノ災禍ヲ嗚メ欺騙ニアラサレハ即チ強迫威喝ニシ

日本政府ハ久シク山東ヲ併呑シ青島ヲ再奪セント欲セリ恰モ好シ今則  
 南北開戦セルヲ以テ時機棄スヘシトシ日本政府ハ南北政府ノ抗議ヲ顧  
 ミス我等國民ノ排斥ニ頓着ナク直チニ中日親善ノ假面ヲ掲開シ瘴惡的  
 醜面ヲ露出シテ張牙舞爪シ再ヒ我等ノ山東省ヲ呑食セントシテ來レリ  
 大部ノ虎ノ如キ慘無人道ノ大屠殺ヲ演出セントセリ、日本政府ハ確ニ  
 我國ノ内政ニ干涉シ故意ニ其中間ニテ之ヲ排發セシメ双方共人ヲ損傷  
 セシメ支那戰禍ヲ延長セシメテ居リナカラ機ニ乘シ漁夫ノ利ヲ占領セ  
 ントセリ此レ即チ日本出兵ノ最大目的ナリ同胞諸君ハ全ク此ノ強盜賊  
 酷的ノ行爲ヲ擅ニ不聞不問ニ付スル事ヲ得ルヤ我等ハ血氣アル活人ナ  
 リ決シテ忍受スル能ハス其ノ都度抗争シテ許容セス我等ハ常ニ平然ヲ  
 粧ヒ居ル者ナリ我等多衆ハ必ス一個方法ヲ講シテ之ニ對抗セサルヘカ

在鐵嶺日本領事館

2613

S 1.1.1.0 - 2

ラス本國當局ニ倚賴シ數次文書ヲ以テ抗駁スルモ決シテ成功スルコト  
 能ハス軍閥ハ完全ニ日本帝國主義政府ニ迷惑セラレ居レリ故ニ我等唯  
 一ノ手段トシテ即チ我等自己ノ力量ニ倚賴シテ實行スルニアリ諸君一  
 致圖決シテ山東出兵實行ニ對シ日本ニ向ツテ經濟ノ絶交ヲナシ日貨ヲ  
 排斥スルコソ之レ即チ我等最善ノ方法ナリ  
 同胞諸君、同胞諸君我等ハ九江漢口等ノ英國租界ハ我等國民ノ奮闘努  
 力ニ依リ始メテ英國ノ手中ヨリ回收セシヲ知レリ支那ノ人民ハ多年内  
 外ノ壓迫ヲ受ケ其ノ大部分ハ生活スル能ハス然シテ現在ニ於テハ既ニ  
 大多數ノ革命團體運動ノ勢力漸次發展シ來リ現在ニ於テハ帝國主義ノ  
 國家等ハ亦懼レサルニ至ル彼ハ即チ我等國民ノ群起抵抗ノ勢力ヲ懼ル  
 即チ臨江ニ於ケル設領事件ノ如キハ單ニ一小學校長ノ一呼號ニ依リ各

在鐵嶺日本領事館

2614

S 1.1.1.0 - 2

611.0310

公信第一二七號

昭和三年五月十六日

在鐵嶺

領事 近 藤 信

外務大臣男爵 田 中 義 一 殿

日本出兵反對宣傳文貼付ニ關スル件

本件ニ關シ五月十二日付公信第一二四號ヲ以テ報告ノ通り、處支那側  
警察ニ於テハ極力宣傳文ノ出所經路ニ付捜査中ナリシカ、本月九日鐵嶺  
中學生徒ノ葬儀ヲ城外龍首山ニ於テ營ミタル際、參列學生間ニ山東出兵  
ニ就キ演說ヲ試ミタルモノアリ、其刺戟ヲ受ケ、全中學生鐵嶺北關居住ノ  
孫某等カ該宣傳文ヲ作成貼付シタル形跡、明カトナリタルモ、警察側ニ於

在鐵嶺日本領事館

S 1.1.1.0-2

2616

界ノ團體遠近ニ相呼應スルニ至リ立口ニ日本ノ野心ヲ嚇掉セリ家屋ヲ  
有スルモノハ之ヲ貸與セス土地ヲ有スルモノモ亦彼等ニ出租耕作セシ  
メス商家ニアリテモ亦彼等ト取引ヲ爲ササルコトトスルヲ我等國民運  
動力ノ最大ナルモノナリ諸君速ニ蹴起シテ凶狼橫暴ノ日本帝國主義者  
ヲ驅逐セヨ終始堅持シテ百打撓ムヘカラス  
日本ノ山東出兵ニ反對ス  
全國一致シテ日本ト經濟ノ絶交ヲナス  
日本帝國主義ヲ打倒ス  
小日本ノ惡軍閥ヲ打倒ス  
國恥ヲ忘ルル勿レ  
同胞諸君速ニ醒メヨ醒メヨ

在鐵嶺日本領事館

S 1.1.1.0-2

2615

4512.91211  
611.2312

亞細亞局

機密第一三八號

昭和三年五月二十五日

在鐵嶺

領事 近

藤 信

外務大臣男爵 田 中 義 一 殿

時局ニ關スル支那住民ノ態度ニ關スル件

時局ニ際シ當地ニ於ケル我軍隊ノ移動頻々タル狀況ヲ眼前ニ目撃シ  
ツツアル當地方支那住民ハ從來ノ無關心ヨリ呼起サレタル如ク山東  
出兵、濟南事件等ヲ詳細知ラントスル傾嚮アル折柄支那側諸新聞ノ  
棒大ナル惡宣傳之レヲ手傳ヒ最近住民ノ態度ニ變調ヲ來シツツアル  
如ク當館警察ノ内査シタル別紙報告書寫御參考迄添付報告ス

在鐵嶺日本領事館

S 1.1.1.0-2

2618

テハ却テ學生等ノ反感ヲ激成スルハ面白カラストナシ之レカ追究ヲ避  
ケ主トシテ周圍ノ取締ヲ嚴重ニシ學生ニ對シテハ嚴密監視ヲ怠ラサル  
模様ニテ現今ノ處何等不穩ノ形勢ヲ見サルモ時節柄未然防止ノ見地ヨ  
リ本官ヨリ鐵嶺交涉局長及鐵嶺縣知事ニ對シ警告ヲ發シ置キタリ此段  
報告ス

本信寫送付先 公使、在滿各領事、各分館主任、間島總領事

在鐵嶺日本領事館

S 1.1.1.0-2

2617

我山東出兵以來支那側官民ハ齊シク我態度ヲ注視シツツアリ頭初當  
 城内支那官民ハ日本ノ出兵ハ山東ニ於ケル僑民保護ニシテ濟南事件  
 ノ如キ支那兵ノ暴行事件モアリ已ムヲ得サルモノトシテ齊シク穩健  
 ナル態度ヲ持シアリシカ其後日本ノ態度著シク強硬ニシテ第三師團  
 ヲ更ニ山東ニ派遣シ滿鮮駐劄兵熾ニ移動シ京奉沿線ニ出動セシメ山  
 海關ニ於テ支那兵ノ武裝解除スル等ノ說傳ハリ各地排日運動ト相俟  
 テ漸次日本ノ出兵ニ對スル支那民衆ノ猜疑心抬頭スルニ至リ巷間或  
 ハ日本ハ今回ノ濟南事件ヲ口實トシテ山東鐵道ヲ占領スル意圖アリ  
 之等ハ日本豫メテノ希望ニシテ南滿鐵道ト相俟テ支那ニ對スル双牙  
 ヲ樹テントスルモノナリ又日本ハ支那ノ内政ニ對シ干涉スルモノナ

記

在鐵嶺日本領事館

S 1.1.1.0-2

2620

本信寫送付先 公使、奉天、掏庫、

在鐵嶺日本領事館

S 1.1.1.0-2

2619

リ等ト稱ヘ若シ日本ニシテ今後尙南北兩軍ニ對シテ干涉スルニ於テ  
 ハ支那ハ南北團結シテ日本ト交戦セハ日本ヲ打破スルニハ容易ナル  
 ヘシト稱フルモノアリテ城内方面一般ニ排日氣分濃厚ナリ然レトモ  
 支那官憲ハ表面沈黙ヲ守リ居ルモ嚴重視察中  
 商取引其他經濟關係ニ付テハ現在ノ處何等顯レタルモノナシ

以上

在鐵嶺日本領事館

S 1.1.1.0 - 2

2621

